

# たくましく生きる力 そうぞうりょくを育む体験を

～松山子ども劇場21のこれからの予定～



おもしろ不思議な兄弟のお話  
「カボとピノ」(第119回 舞台鑑賞例会)  
人形劇団ココン

【日時】5月14日(日) 14時開演  
【場所】松山市男女共同参画推進センター(コムズ)5F 大会議室

## 初夏の自然体験活動 「親子でわくわく自然体験」

【日時】6月18日(日) 9時から16時予定  
【場所】松山市野外活動センター(松山市菅沢町)



いろんな“へんてこ”を楽しもう!  
「へんてこげきじょう」(第120回 舞台鑑賞例会)  
人形劇団 京芸

【日時】9月30日(土) 15時開演  
【場所】愛媛県男女共同参画センター 多目的ホール

大きな作品をみんなで観よう!  
特別公演 ミュージカル「あらしのよるに」  
(文化庁アートキャラバン事業) 総合劇集団 俳優館  
【日時】10月9日(祝・月) 14時開演  
【場所】愛媛県県民文化会館 サブホール  
\* (公財)愛媛県文化振興財団と共催です



秋の自然体験活動  
「秋のレクリエーション」  
【日時】11月中旬予定 9時から16時予定  
【場所】場所未定

【チケット】例会作品の鑑賞チケットは、**会員無料**  
おとな 2,500円 / 子ども 1,500円  
(18歳以上) (3歳から17歳)  
\*6月から、成人年齢が18歳になります。

## 非認知能力ってなに?

「非認知能力」は、2000年にノーベル経済学賞を受賞したジェームズ・ヘックマン氏が提唱した言葉で、経済学や心理学で使われます。IQ や学力テストなど、数値化される認知能力(読み書き・計算能力)ではないもの全般を言い、**幼児期の遊び**で大きく発達するとされています。

経済協力開発機構(OECD)が「社会情動的スキル」と称した、  
・目標の達成  
・他者との協働  
・感情のコントロール  
に関わる力で、「生きる力」「人間力」とも言われています。  
日本でも、2018年の幼稚園指導要領、2020年小学校新指導要領において、遊びと非認知能力の発達の関係が報告されています。

# コスモス

NPO 法人  
松山子ども劇場 21  
広報紙 NO.67  
2023年5月発行



2023春の里山冒険遊びより

## ポジティブに生きる

◆この3年間、コロナの影響を受けながらも「子どもを真ん中に」活動を続けてきたNPO法人みんなダイスキ松山冒険遊び場代表の山本良子さんに寄稿いただきました。

私たちは新型コロナウイルスの脅威に震えながら、この3年、マスクをして命の危険を感じながら生きてきました。子どもたちにもマスクをさせ、学校では黙食、友達の家遊びに行くことも禁止、公園で遊ぶことさえも許されない時期もありました。異常事態の状況下でしたが、その中で保護者の意識は少しずつ変化をしてきたように思います。人と人との関わりや自然体験の大切さを実感されている保護者は増えているように思います。私たちが実施する自然体験や森のようちえんの希望者もコロナ禍で急増しました。

かたや、不登校の子どもたちは9年連続で増えています。特に小学生の不登校相談がコロナ以前よりも急激に増えていると感じています。

コロナウイルスという脅威にさらされた3年間でしたが、私たち大人にとってはきっと多くのことを学んできた3年間でもあったのではないのでしょうか。ネット社会でのバーチャルなコミュニケーションを推進する中で、人間の育ちにとってリアルな人間関係や、体験は必要不可欠なものです。それが少ない状態では社会で生き抜く力を持った子どもは育たないと思っています。学力を重視する保護者はまだまだ多いですが、今後は子どもの「生きる力」を育む非認知能力をもっと重視しながら子育てしていく必要性を今以上に訴えていきたいと思っています。



山本 良子  
(やまもと よしこ)

NPO 法人みんなダイスキ松山冒険遊び場代表、保育士、2男2女の母、吉本興業 NSC8期生(千原兄弟と同期)

\*非認知能力を伸ばすには「遊び」がとっても大事だよ。  
\*くわしくは裏表紙を読んでね



はなす・みる・あそぶ・つくる・たべる・きく  
いろいろな体験を通して、子どもたちが心豊かに育つことができるようにサポートしています。プロの舞台芸術に出会う鑑賞例会のほか、たくさんの仲間といっしょに活動できる場をつくっています。

〒790-0022 松山市永代町 9-3-305  
Tel/Fax 089-945-0031  
E-Mail info@matsuyamakodomo.or.jp

HPはこちらから!



【開局時間】 火・水・金 10:00~15:00  
お休み 月・木・土・日

## 会員募集中です!

◆親子で楽しみたい!  
【入会金】 300円 (入会時のみ)  
【会費】 18才以上 1,300円/月  
4才~17才 700円/月  
\*会員になると、舞台鑑賞例会のチケットは無料です。体験活動の参加費は一般の半額です。  
\*4才になると誰でもいつでも会員になることができます。3才以下のお子さんは保護者が会員になると、おひざで観ることができます。

◆活動を応援したい!  
【賛助会費】 個人 1,000円・3,000円・5,000円/年  
団体 10,000円/年  
\*個人 1,000円の賛助会費は、「シアターサポート」として松山子ども劇場21の舞台鑑賞事業の実現にのみ使わせていただきます。  
\*個人 5,000円・団体 10,000円の賛助会員は、年に1回舞台鑑賞例会のチケットを送付いたします。

ありがとうございます 個人賛助会員 4名  
武井 多佳子 様 作道 昌美 様  
来島 頼子 様 清瀬 眞弓 様



# 生きる力は楽しむことから!!

2022年10月から2023年3月までの活動



子どもゆめ基金助成事業  
**2022 親子わくわく自然体験**  
 (対象年齢:4歳から小学生の子どもとその保護者)  
 日時: 2022年10月30日(日) 9時から16時  
 会場: 松山市野外活動センター(レインボーハイランド)  
 参加者: 59名(大人27名・子ども32名)  
 講師・スタッフ: 15名



NPO法人20年記念例会 part 3 第118回 舞台鑑賞例会  
**「ピアノカの魔術師」** (対象年齢:全年齢)  
 日時: 2022年12月17日(土)18時開演 (上演時間 80分)  
 劇団: サウンドポケット  
 会場: 松山市青少年センター 大ホール  
 参加者: 212名(会員62名・一般150名)



子どもゆめ基金助成事業  
**2023 春の里山で冒険遊び**  
 (対象年齢:小学生とその保護者)  
 日時: 2023年3月5日(日) 8時30分から13時  
 会場: 淡路ヶ峠・とよかたの森(松山市畑寺)  
 参加者: 46名(大人19名・子ども27名の20家族)  
 講師・スタッフ: 13名



《わくわく自然体験 プログラム》  
 ・昆虫博士をめざそう  
 (講師: 斎藤智子さん 田村竜土さん)  
 ・トントンギコギコ工作しよう  
 (講師: 高橋佐智子さん)  
 ・野原で遊ぼう  
 (講師: 岡本久美子さん 松田美紀さん)



会員の高校生スタッフも大活躍!



**みんなの感想**  
 ☆いっぱい走って力になりました。(子ども)  
 ☆無げんキューブと工作がたのしかったです!(子ども)  
 ☆トントンギコギコがたのしかったです。のこぎりのこと、ずっとやっていたら楽しくなってじょうずになりました。(子ども)  
 ☆小さな子どもも楽しめるものばかりで、時間が過ぎるのがあっという間でした。ふだん家ではできない工作ができて楽しく集中できました。(大人)

**みんなの感想**

☆カスタネットのわががすごかった! サインもらえてうれしかった!(子ども)  
 ☆僕もドレッドヘアにします!!(子ども)  
 ☆ピアノカを両手で弾くことに、まずびっくり!小学生が使っているピアノカで、クラシックやアニメの主題歌が演奏できることにびっくり!!ミッチュリーさんのトークも愛あり笑いありで大変素敵な時間でした。(大人)  
 ☆終わって興奮冷めやまぬ今。とにかくかっよかった~♥(大人)  
 ☆1才から70代までワクワク楽しめました。懐かしい人にも会って、何倍も嬉しい例会になりました。寒い時期でしたが、熱い興奮を持って帰られたと思います。良かった!(大人)  
 ☆ピアノカで演奏するJAZZにレゲエにタンゴにうっとり。戦争の成果を平和に歌で変えたボブ・マーリーのお話。世界平和を願い演奏して下さった『この素晴らしい世界』と『War is over』に涙が止まらない心に響く音楽をありがとうございます。(大人)

**「ピアノカの魔術師」をもっと楽しむために**

☆事前企画☆「みんなのつどい~魔術師に変身~」  
 11月13日(日) 10時から12時  
 @コムズ和室  
 参加者 8名  
 工作でシルクハット・マラカス・カスタネットを作り、ミッチュリーさんの動画と一緒に演奏しました。



☆アフタートーク☆  
 12月24日(土)10時から11時30分  
 @教育会館  
 参加者 12名  
 ・魔術師クイズ(舞台鑑賞部作成)  
 ・好きだった曲  
 ・自由感想  
 ・プレゼント交換



《里山で冒険遊び プログラム》  
 ・淡路ヶ峠にのぼろう  
 (お話: 桑原公民館館長 二宮秀秋さん)  
 ・のこぎりを使ってみよう  
 (お話: 愛媛県森林課 原さん・増田さん)  
 ・ロープ遊び  
 (講師: 岡本久美子さん)



**みんなの感想**  
 ☆ぼくは山のぼりとのこぎりたいけんをすごくおもしろいと思います。(子ども)  
 ☆山にのぼったのしかった。(子ども)  
 ☆登山やロープ遊び、のこぎり体験など、どれも子どもも喜んでいて、「自分で最後までやりきりたい!」という強い気持ちを見ることができて、意外でもありうれしかったです。(大人)  
 ☆おみやげの焼き芋がおいしくて、二人でうなりながらいただきました!(大人)

お土産の焼き芋が、「おいすぎる!」と話題になりました。  
 JA 茨城産の「旭甘十郎(あさひかんじゅうろう)」を使いました。